

番 号	13 請願第 6 号 （文教付託）
受理年月日	平成 1 3 年 9 月 6 日
件 名	三鷹市立幼稚園全廃の方針の撤回を求めることについて
提 出 者	三鷹市立幼稚園保護者交流会 代表 上野 かよ子
紹 介 議 員	岩田 康男
要 旨	
私たちは、平成 13 年 6 月 25 日付三鷹市教育委員会へ 10,040 名分の署名とともに、市立幼稚園の存続を求める請願書を提出いたしました。 結果、平成 13 年 8 月 23 日の臨時会で不採択となり、誠に遺憾であります。 しかし、不採択という結果はありますが、今だこの先の私たち市民の願う幼児教育のあり方や、公立幼稚園が全廃になった後起こってくるであろう問題については何一つ解決されておられません。このような市の無責任な態度は、現在市立幼稚園に通っている園児の保護者のみならず、市立幼稚園全廃が現実になれば希望者が殺到するであろう私立幼稚園の保護者、さらにはこれから就園を迎える子どもの保護者や地域の方々に、この先の幼児教育に対しての強い不安を与えております。 現存する大沢台・こじか・ちどりの三鷹市立幼稚園は、就学前の子どもを持つ保護者にとって信頼でき、安心して子どもを預けることができる幼稚園です。たくさんの理由がありますが、特に次に挙げる点から市立幼稚園はこれからも必要であると考えます。 1 子どもが健やかに成長していくための生活の基本、常識を一貫して教えてきた長い伝統があり、信頼して子どもを預けることのできる先生がそろっています。 2 発達のゆがみのみられる子どもに対しても積極的に受け入れ、個々の発育に応じて適切かつ丁寧に対処・教育してきた実績があります。 3 小・中・高校及び地域との連携・交流があり、このことは双方にとってよい経験をもたらしています。 4 さまざまな理由から 2 年保育を希望する者にとって、受け入れの態勢の整った教育機関であります。	

5 経済的な負担が少ないので、兄弟の多い家庭や経済的に余裕のない家庭にとって必要な教育機関であります。

また、三鷹市内には建設中のマンションや公団が多数あり、幼児人口増加が予想される背景からみても、教育委員会の結論には無理があるのは明らかなです。この問題を、市全体で慎重に再検討して議論を深め、後世に受け継ぐべく市立幼稚園が存続するために廃園の方針の撤回を強く求め、ここにお願いいたします。